



# 仙高の風

令和2年 12月27日発行 第8号

ホームルーム研  
修旅行 仙台空港  
から大阪伊丹、九州  
福岡、沖縄那覇空港  
へ次々と出発。



## 特集 第2学年ホームルーム研修旅行

6月からクラスごとに進めてきた各種研修も、いよいよ現地での活動となりました。情勢が目まぐるしく変わる中での研修旅行は、多くの方面に支えられ、安全を第一として実施する運びとなりました。旅行団は充実の研修行程を終えて、12月2日、無事に帰校しました。皆様のご支援、ご協力に心から感謝いたします。ありがとうございました。



**クラス別方面** 1組:関西「神戸・人と未来防災センター、阪神甲子園球場ほか」2組:九州「原爆資料館、九州大学ほか」3組「比叡山延暦寺、神戸湾ディナークルーズほか」4組「ひめゆりの塔、美ら海水族館ほか」5組「東大寺・薬師寺、神戸市内ほか」6組「姫路城、市立京北小中学校ほか」7組「神戸湾ワイライトクルーズ、摂南大学寝屋川キャンパスほか」8組「中野うどん学校、姫路城ほか」←11/29(日)、仙台空港に集合しました。

### ◆結団式(放送)

例年、学年全体が集まって行われる出発式も今年度は放送で行いました。安田学年主任からこれまでの研修を振り返りながら、いよいよ始まる研修旅行に向けて、心構え等についてお話しになりました。続いて、各クラスの実行委員が自分のクラスの研修テーマやコースなどについて紹介をしました。◆**町田校長**「普段、私たちが実践している対策をしっかりと行うことで、訪れる町でも安全が確保されます。この年に、健康に安全に研修に行くことには大きな意味があると感じます。実現のために後押ししていただいた学年PTA・保護者の皆さま、安田学年主任を始めとする2学年の先生方に心より敬意を表します。この旅は「同じものを共に見る」ことが大切なのです。いい旅を。」◆**安田学年主任**「このような状況下でも実施に向けて様々取り組み、研修旅行を実施すること自体が仙台高校の校是である『自主自立』を体現していると思えます。本校の研修旅行はクラス毎に方面や旅行行程が違いそれぞれ独自性があり、様々な面で工夫を凝らしてきました。このことを活かして感染予防対策をしっかりと行いながら、本校ならではの研修旅行にしてきて欲しいと思います。感性が豊かなこの時期に、訪れたことのない地域の文化や暮らし等に触れ、今感じられることをしっかりと吸収してきてください。これからの人生に役立てるための貴重な時間として大いに学んできて欲しいです。」



例年、学年全体が集まって行われる出発式も今年度は放送で行いました。安田学年主任からこれまでの研修を振り返りながら、いよいよ始まる研修旅行に向けて、心構え等についてお話しになりました。続いて、各クラスの実行委員が自分のクラスの研修テーマやコースなどについて紹介をしました。◆**町田校長**「普段、私たちが実践している対策をしっかりと行うことで、訪れる町でも安全が確保されます。この年に、健康に安全に研修に行くことには大きな意味があると感じます。実現のために後押ししていただいた学年PTA・保護者の皆さま、安田学年主任を始めとする2学年の先生方に心より敬意を表します。この旅は「同じものを共に見る」ことが大切なのです。いい旅を。」◆**安田学年主任**「このような状況下でも実施に向けて様々取り組み、研修旅行を実施すること自体が仙台高校の校是である『自主自立』を体現していると思えます。本校の研修旅行はクラス毎に方面や旅行行程が違いそれぞれ独自性があり、様々な面で工夫を凝らしてきました。このことを活かして感染予防対策をしっかりと行いながら、本校ならではの研修旅行にしてきて欲しいと思います。感性が豊かなこの時期に、訪れたことのない地域の文化や暮らし等に触れ、今感じられることをしっかりと吸収してきてください。これからの人生に役立てるための貴重な時間として大いに学んできて欲しいです。」



### ◆ホームルーム研修旅行実行委員長の**大畑龍之介**さん(2年)にお話を聞きました。「正直、訪問先での感染予防対策は想像以上でした。添乗員さんをはじめとするスタッフの方々の事ある度の消毒指導もすごくて、でも、そのお陰で何事もなく帰って来たんだと感謝しかないです。私たちは、終始、研修に行けるのか行けないのかの狭間で、ずっと不安でした。周囲の高校から修学旅行を中止する話が聞こえてきました。先生からも、直前でも中止はあり得るとのお話もあり、本当に複雑な気持ちでした。◆現地では行く先々で温かく迎えていただいているのが分かりました。そして様々なお話を聞くことができました。私は特に阪神淡路大震災で被災された方が語り部となって話してくれたことです。改めて研修を振り返ってみて、本当に自分たちにしかできない経験となったと思っています。何より体調不良者ゼロで無事に帰ってきたこと。今は感謝の気持ちでいっぱい。特に先生方に伝えたいです。うちぐらいじゃないかな、生徒のことを思って頑張ってくれたのは」



正直、訪問先での感染予防対策は想像以上でした。添乗員さんをはじめとするスタッフの方々の事ある度の消毒指導もすごくて、でも、そのお陰で何事もなく帰って来たんだと感謝しかないです。私たちは、終始、研修に行けるのか行けないのかの狭間で、ずっと不安でした。周囲の高校から修学旅行を中止する話が聞こえてきました。先生からも、直前でも中止はあり得るとのお話もあり、本当に複雑な気持ちでした。◆現地では行く先々で温かく迎えていただいているのが分かりました。そして様々なお話を聞くことができました。私は特に阪神淡路大震災で被災された方が語り部となって話してくれたことです。改めて研修を振り返ってみて、本当に自分たちにしかできない経験となったと思っています。何より体調不良者ゼロで無事に帰ってきたこと。今は感謝の気持ちでいっぱい。特に先生方に伝えたいです。うちぐらいじゃないかな、生徒のことを思って頑張ってくれたのは」

## ★弓道部県新人大会結果 10/30～11/1の3日



間で令和2年度県新人大会弓道競技が行われ、**女子団体戦ベスト8**、**男子個人戦で泉壮駿さん(2年)が第5位**、また、泉壮駿さんは、「**弓道射道**」でも**優秀賞(第2位)**となりました。



## ◆鶴谷特別支援学校の生徒の作品を展示しました

今年のような状況下でも鶴谷特別支援学校の生徒さんは立派な作品を制作しました。本校に出張展示された作品の数々を見学した生徒や職員から、バリエーションの多さや、仕上がりの良さに、驚きの声が上がっていました。鶴谷の生徒の皆さんありがとうございました。この様な交流は、例年2月にも行われており、本校から剣道部員が支援学校さんを訪問し、剣道を体験してもらったり、木工や手芸を体験させてもらったりして、互いの日常を体験し合う機会が持たれていましたが、今年度は中止となってしまいました。



## ◆12/23、冬季休業前全校集会(放送)が行われました。



(一部抜粋)町田校長から：医療従事者の皆さんは、危険を感じながらも「自分がやらなければ誰がやる」という使命感で従事しています。私たち学校職員も、部活動指導で研修旅行の引率で、生徒を感染させてはいけない、その重責を負って従事しています。どんな家庭にも、子どもや老人、持病のある人などがいます。皆さんの保護者の方も、それぞれの仕事でそれぞれの責務を負い、努力なさっていることと思います。なくていい仕事などないのです。仙高生も、それぞれできることを主体的に行ってください。多くの人が今日も働いています。どうか、感謝の気持ちを表してください。トラックの荷台にあるお煎餅を雪の中配るサンタクロースのごとく、コロナ禍にあっても、優しい気持ちに溢れた年末年始でありますよう。



◆杉内進路指導部長から：入試制度改革で、試験内容だけでなく、評価の観点も変わりました。3年生はそのような中、自分と向き合い素晴らしい結果を残してくれています。フェニックスプランで取り組んできたことが実を結んだ事例が多くみられます。これから一般選抜が始まりますが、受験勉強は苦しいものではなく、楽しいものと捉えてください。ただ暗記するのではなく新しい「まなび」を深めているのだと捉えるようにしましょう。1・2年生諸君は、目の前にある課題に全力で取り組んでください。日々のまなびに全力を尽くす!健闘を期待しています。

◆佐藤(政)生徒指導部長から：今年の生徒指導全般を一言でまとめると、「落ち着いて生活していた」と言えます。みんなが意欲的に登校し、生活していることが読み取れます。生徒指導関係の研修に行くと、コロナ禍のため学校生活が一層困難・複雑化して、生徒のストレスマネジメントが大変であると学べます。君達は そういった逆風の中でも誠実に、たくましく、しぶとく、そしてしっかりと生きています。それはとても頼もしいことと、私は思います。最近職員会議でよく聞かれるフレーズがあります。生徒のハートを揺さぶる〇〇、生徒のハートに訴える〇〇というものです。しかし、逆に君達から私のハートを揺さぶられることが多数ありました。例えば、道端に倒れているお年寄りのために機転良く、救急車を呼んでくれた生徒がこの中にいます。勇氣ある仙高生を、私は、誇りに思います。ただ一方でいくつかのトラブルがあったことも見逃す事はできません。



SNS 絡みの偏見や差別、個人情報への漏洩といったネットリテラシーに絡んだトラブルが多かったのも事実。そして今後も増加するかもしれない危機感を「私」が持っているのも事実です。最後に私の仙台弁でめましよう。「さて、短い冬休みがはじまりますが『おめでたわりいごど すんなよ』以上。

## ◆12/23、全校一斉清掃を行い、今年一年の煤を落としました。 教室内ワックス清掃も自分たちで行います!



## ◆スキルアップ講習会開催 12/24から3日間の日程で、冬休み特別講座『スキルアップ講習会』が行われました。

「英語」、「数学」、「国語(古典)」の3教科で、河合塾仙台校から講師の先生をお招きして開催しました。会場となった大講義室は、生徒や本校教師、他校の先生方にも参加いただき、大変熱気溢れる講習会となりました。参加した**早坂悠斗さん(2年)**は、「とても楽しかったです。問題がサクサク解ける感覚でした。参加して良かったです!!」と感想を述べていました。



## 新年の夢や目標は?

本校ALTのルーシーが「ルー便干ポスト」を設置。ポストカードに生徒が英語で書いて投函。ルーシーから英語でメッセージが届きます。新たなコミュニケーションツールができました。



〒 981-8502 仙台市青葉区国見 6-52-1  
Tel 022-271-4471 Fax022-271-1136  
URL <http://www.sendai-c.ed.jp/~sendaihs/>  
担当:主幹教諭 板橋俊文『仙高の風』バックナンバーはホームページからもご覧いただけます。